

センターだより

NO. 6

平成19(2007)年10月 日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

不登校児童・生徒支援事業（光の森）活動を通して

例年に比べて比較的少人数で始まった今年度の「光の森」活動も5月の連休明けから徐々に見学・体験者が増え、現在体験を含め、29名が活動をしています。

今年の春から体験を始めた子どもの中に家庭訪問活動から「光の森」の活動に参加するようになった子ども達があります。小学校から長期に及ぶ不登校期間を経て、小集団とはいえ、「光の森」に休まず参加できるエネルギーを彼らはどのように蓄えていったのでしょうか。

家庭訪問活動は、週に1回2時間程度、家庭に光の森フレンドを派遣している活動ですが、家庭に他人が入るわけですから、学校から子どもの状態を丁寧に聞かさせていただき、始める時期やどんなフレンドを派遣するかは慎重に考えます。初回の訪問時は担当所員が担当相談員とフレンドを子どもと保護者に紹介をします。訪問する私たちも大変緊張します。「会ってくれるのか」「話が出来るのか」という不安を抱えながら家庭に伺います。けれど一番緊張しているのは子ども本人であるのは言うまでもありません。顔を上げなくても、こちらからの問いかけにうなずいてくれるとほっとします。案ずるより産むが易しで子どもが次回のフレンドの訪問を楽しみに待っていることがほとんどです。訪問初期は毎回毎回ゲームの相手をする、お絵かきにつきあう、話し相手になるなどの変化のない活動をしているようですが、そんな中でぼつぼつともらす子どもの言葉をフレンドは真剣に聞いてくれます。子どもは安心してフレンドに甘えるようになり、徐々に家庭の外へ活動場所を広げます。一方、子どもと家族との固定化された関係にも変化が出てきます。担当相談員が面談の中で、保護者とともに子どもの変化の意味を一緒に考え、フレンドの活動に生かしていきます。

家庭訪問活動で子どもがフレンドと1対1の関係をしっかり築き、人への信頼を取り戻すことが出来るようになると、家庭の外へ出るエネルギーがわいてくるようです。この春のケースでは、その時期がちょうど中学3年に進級する時期であったことと訪問の担当フレンドが変わる可能性が出てきたことも重なり、子どもが「光の森」に踏み出せたようです。もちろんそれまでに担当相談員と保護者、子どもとフレンドが少しずつ準備を進め、昨年度末に何回かフレンドと一緒に「光の森」の活動を見学し、体験も重ね今年の春に至ったわけです。そして、この1学期間休まず「光の森」に通い、学習だけでなくスポーツや音楽にチャレンジし、まわりの子どもと活動を楽しみました。

不登校になり家庭から外出することのなかった期間が、その子どもにとって自分と向き合う大切な時間だったのかもしれない。しかし、そんな期間でもフレンドの訪問や保護者のカウンセリングなど、継続した子どもへの働きかけが一方であったからこそ、子どもが動きだす時期に適切な対応が出来たともいえるでしょう。不登校の原因やきっかけ、子どもの持つ課題は個々に違いますが、まわりの大人がしっかり連携をとり、子どもの現状を共通理解して、今後の方向を検討することは、子どもが動かない時期だからこそ必要なのではないかとことです。

今年も中学3年生が多く、2学期はいよいよ進路について具体的に検討していく時期を迎えます。子ども達は高校生活に大いに期待を抱いています。その夢を叶えるため、「光の森」は保護者を支援し、学校の先生方と連携しながら子ども達の進路保障に努めていきたいと考えています。

小学校英語活動研修最前線！

～ 小学校英語活動必修化へのソフトランディングを目的として～

本年度、教育センターでは小学校英語活動に係る研修を3コース実施しています。

① 小学校英語研修 小学校英語に係る国・府の動向、各校において準備等必要なこと

② 夏期集中研修（入門編・初中級編） 先生方個人のスキルアップ

③ リーダー養成研修 小英のリーダー的役割を担う先生方の指導力アップを目的。

今回は、なかなかハード・・・でも充実していた夏期集中研修の様子をお伝えします。

～ 夏期集中研修～朝10時から午後4時過ぎまで～

< 初中級編 >

『指導力アップ講座』

1日目と2日目午前は、中学校 AET が講師でクラスルーム・イングリッシュを実施。

3日目午前は、

- ・「究極の質問」に英語で答える
- ・吹田市 AET にインタビューをして英語で報告
- ・英語でCM制作しプレゼンテーション

というかなりハイレベルな内容で、先生方の英語力アップをはかりました。

午後は3日間ともマイクロティーチング（ミニ模擬授業）で、どの学年でもどのテーマでも使える活動（カルタやピンゴ、インタビューゲーム）から、時事性のある内容（世界陸上・ハロウィーン）、児童の主體的・創造的な活動（町探検、浴衣を着よう、酸とアルカリ、クッキング）・・・とレベルを上げていきました。

- ・緊張したけど、こういう機会をたくさんもつことは大切だと思った。場数を踏むことが上達につながると思った。
- ・たくさんの模擬授業を見て、使う英語や歌、ゲームなどの構成等勉強になった。

< 入門編 >

『英語が苦手な先生ガンバレ講座』

1日目は、AET 業務委託会社所属の AET スーパーバイザーが中心となって教室で使える英語研修と英語活動体験を行いました。

- ・フラッシュカードの使い方や重点の英文等を使ったゲームがおもしろく、あっという間に時間が過ぎました。
- ・初めは、英語の発音するのも「まちがっていたらどうしよう・・・」と口パクでしたが AET の先生の「まちがっても大丈夫！」という空気と雰囲気によって参加できるようになりました。レッスンを進める先生の役割の大切さを実感しました。

2日目：実践事例紹介

フォニックス（母音・有声音の発音等）ハンバガーから食材さがしの旅（国際理解）世界の子どもたち写真カード実践例歌「BINGO」「Ten Fat Sausages」

3日目：実践事例紹介 & ミニ模擬授業体験 < アクティビティの鉄則 >

ルールは簡単に！ 待ち時間が少なく、なるべく全員が参加できるものを！ クラスに合ったアレンジを！

カルタ・ドッキングゲーム・サイモンセズ TPR（全身反応法）・歌「ホーキーポーキー」等

研修で有効なのは、ミニ模擬授業（マイクロティーチング）です。学校の校内研修でも数校されておられます！ 緊張を超えたところに新しい発見があります！！

これからの研修

課題別研修 学力向上

学びの基礎力を高めるために

日時：11月12日(月) 16:00～
場所：教育センター 研修室
講師：寺西 和子氏(千里金蘭大学教授)

本市の学力テストの結果において「考える力」「学びの基礎力」(意欲面)の課題がみられます。この点をふまえて、子どもたちに確かな学力をつけるために、学校はどのように授業改善に取り組んでいけばよいのかお話しただく予定です。

情報教育実技研修 ICT 機器の活用講座

電子情報ボードと 小学校コンテンツパックの活用

日時：10月29日(月) 11月22日(木)
いずれも 16:00～
場所：教育センター 情報科学室

本年度、全小学校に新しいパソコン、電子情報ボード(タッチパネル)、学習用コンテンツパックが導入されます。実際に使用し、活用方法を学びます。(とも同内容です。ぜひ、どちらかに参加ください。)

初任者研修報告

夏季休業中の初任者研修報告(PART 2) は感想

特別支援教育

教育センター森田主幹が講師となり、ワークや具体的な事例をまじえて、「特別な支援を必要とする児童・生徒の理解と支援」について学びました。

一人ひとりの子どもにあわせた指導が必要だと感じた。曖昧な表現で子どもたちがとまどうことが多い一学期だったと思う。見通しを持って活動できるように視覚に訴えるスケジュール表や掲示物を工夫しようと思った。また、授業の中でも子どもたちが不安にならないように指導方法を考えようと思った。まず、子どもを理解することが大切だと思った。「これはわかるだろう。」といった教師の思いこみは、子どもたちには大きな迷惑だったんだ...と思った。説明したり指示するときも具体的に示すことは、支援が必要な子どもだけでなく、学級全体にも実践していきたい。

人権教育

前半は教育企画人権室の上西主幹よりたくさんのワークを通して「人権」について考えました。後半は、岸部第一小学校小林先生より学校での実践を紹介していただき、これからの実践をどう進めていくのかを学びました。

資料やワークを通して、人間がいかに思いこみやイメージに左右されているかということがよくわかった。子どもたちが自分の大切さに気づき、他人も大切にして笑顔で過ごせるように人権教育について勉強していきたい。人権総合学習「ハッピープロジェクト」の進め方を聞いてとても勉強になった。子どもたちが調べて、知りたいという意欲を大切にして人権教育を進めていきたいと思った。子どもの心に響く人権教育をされていると思った。すぐに結果がでるものではないけれど、10年後、20年後に人権意識を正しく持った大人を今、育てているのだという意識を持ちたい。

2学期の初任者研修は代表研究授業を行います。授業を通して、教科の指導、子どもへの対応の仕方、発問や板書の仕方などを学びます。

1 0 ・ 1 1 ・ 1 2 月 の 教 職 員 研 修 予 定

講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会 場	日 時	対 象
ライフステージにあった研修	24	「初任者による代表授業」研究授業と研究協議 (中学校理科)「物質の性質」(1年2組) 授業者 山田中学校教諭 中野 辰晃	山田中学校	10月30日 (火) 13:30~	中学校 初任者教員 新採講師
	24	「初任者による代表授業」(小学校 班)研究授業と研究協議 小学校2年 道徳「わすれたボール」 授業者 青山台小学校教諭 上田 和成	青山台小学校	11月20日 (火) 13:50~	小学校 初任者教員 新採講師
	24	「初任者による代表授業」(小学校 班)研究授業と研究協議 小学校5年 国語「ニュース作りの現場から」 授業者 高野台小学校教諭 工藤 智也	高野台小学校	11月22日 (木) 13:45~	小学校 初任者教員 新採講師
	45	「吹田市養護学級センター校に学ぶ」 難聴学級センター校 「たけのこ学級」参観・協議	吹田第二小学校 たけのこ学級	10月26日 (金) 13:45~	教職2~5年目 教職員
	46	「吹田市養護学級センター校に学ぶ」 肢体不自由学級センター校 「やまばと学級」参観・協議	高野台小学校 やまばと学級	11月8日 (木) 13:40~	
	34	授業研究「公開授業を通して」(中学校英語科) 授業者 片山中学校教諭 兒玉 裕子	片山中学校	12月11日 (火) 6時間目~	教職2~5年目 教職員
	29	公開授業・研究協議 保健指導 4年「育ちゆくわたし」 授業者 片山小学校養護教諭 濱田 由実子	片山小学校	12月18日 (火) 14:40~	新規採用養護教諭・教職2~5・10年 目 養護教諭
8	「小中一貫教育で脱教育システム疲労」 吹田市教育委員会指導主事 西田 智子	教育センター 第一会議室	10月23日(火) 16:00~	申込済みの方	
99	「小中一貫教育における事務連携」(仮題)	教育センター 研修室	12月17日(月) 15:00~	学校事務職員	
課題別 研修	63	授業改革 「学びの基礎力を高めるために」 千里金蘭大学 教授 寺西 和子氏	教育センター 研修室	11月12日 (月) 16:00~	教職員
	67	「効果的なケース会議の持ち方」 ~事例を通して~(仮題) スクール・ソーシャル・ワーカー 西野 緑氏	教育センター 第一会議室	12月12日 (水) 16:00~	教職員
特別 研修 支援	222	事例研修 兵庫教育大学 助教授 井澤 信三氏	教育センター 第一会議室	10月22日 (月) 16:00~	教職員
	206	校内体制について(担当者会)	教育センター 第一会議室	11月19日(月) 16:00~	特別支援教育 コーディネータ
教科・ 領域別 研修	76	「東京都杉並区の小学校英語活動の実践紹介」 東京都杉並区小学校英語活動指導者 金野 日和氏 小学校英語担当者会及び小学校英語活動リーダー 養成研修第3回と兼ねています。	教育センター 第一会議室	11月2日 (金) 16:00~	小学校英語 担当者 小学校英語担 当者以外・中学校 英語科教員も参 加可(申込要)
	86	第4回 「カリキュラム研究&中学校教科書研究」	教育センター 第一会議室	11月12日(月) 16:00~	小学校教員 中学校 英語科教員 申込済みの方
	87	第5回 授業研修(受講者による研究授業)	未定	12月初旬	
	88	第6回 演習「英語でプレゼンテーションにチャレンジ！」	教育センター 視聴覚室	12月17日(月) 16:00~	
情報 教育 実技 研修	319	電子情報ボードと小学校コンテンツパックの活用 【本年度、小学校に導入する電子情報ボード(タッチパネル) と学習用コンテンツパックの活用について学びます。なお、研 修番号319と320は同内容です。】	教育センター 情報科学室	10月29日 (月) 16:00~	小・中学校 教職員
	320	コンテンツパックの内容 ・小学校社会デジタル掛図 Ver.2 5・6年セット ・動画データベース生物分野 ・動画データベース地学分野 ・小学校算数シミュレーションVer.3(4・5・6年) ・小学校国語基礎基本ドリル ・小学校算数基礎基本ドリル ・Junior Hi,Englishデジタル掛図1・2(小学校英語)		11月22日 (木) 16:00~	

9月号でお知らせしました日時から変更しています。

各講座の詳細は、各学校ごとに送付します実施要項をご覧ください。